

意見書第9号

令和5年12月22日

南風原町議会
議長 赤嶺 奈津江 殿

提出者	南風原町議会議員	玉城 陽平	
賛成者	南風原町議会議員	知念 富信	
”	”	新垣 善之	
”	”	石垣 大志	
”	”	大城 勇太	
”	”	照屋 仁士	
”	”	大城 雅史	

地域高規格道路・南部東道路の早期実現を求める意見書

上記の意見書を別紙のとおり、南風原町議会会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出します。

地域高規格道路・南部東道路の早期実現を求める意見書

南部東道路は地域高規格道路として平成23年4月に事業着手された那覇空港自動車道と南城市を結ぶ南部広域圏の幹線道路である。事業着手から既に10年以上が経過しているが、事業予算の縮減などに伴う事業の遅れ等により、当初見込まれていた平成30年代前半の全線供用開始は大幅に遅れており、暫定供用開始区間は約2 km (27%)にとどまり、さらに未着手区間も多く未だ全線開通時期は見通せない状況である。

一方、国道329号を経由する国道331号は、沖縄本島南部沿岸を一周するように5市町を連結しているものの、他の幹線道路との接続がない東南部地域においては、移動のロスによる人的・経済的交流や生活利便性の面で厳しい状況下にあり、地域振興の大きなネックになっている。

その解決策として、現在、事業が進められている那覇空港自動車道へのアクセス道路として那覇空港や那覇市内を結び、さらに中北部地域への連絡道路として重要な役割を果たす南部東道路の整備が必要である。

南部東道路は南部広域軸として重要な高規格道路である事だけではなく、沖縄全体にとっても著しい那覇都市圏への交通集中の緩和、那覇空港へのアクセス短縮により、観光客の利便性等、その効果は絶大なものが予想されている。

南部東道路の整備は、本町のまちづくりとして、新たなジャンクションやインターチェンジ周辺地区の土地利用転換などを進めるために、国道331号バイパス道路として国直轄事業化を求める。

南部東道路の国道331号バイパス道路としての国直轄事業化は、本町の地域振興、国土強靱化の実現だけではなく、県土の均衡ある発展、更には、本県の道路ネットワークの動脈として南部圏域の経済振興に繋がることから以下の事項を要請する。

記

- 一 南部東道路整備事業を国道331号バイパス道路として国直轄事業化し、早期供用開始に向けて取り組むこと。
- 一 地域生活の利便性に支障をきたさないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和5(2023)年12月22日

沖縄県島尻郡南風原町議会

【提出先】

国土交通大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄総合事務局長
沖縄県知事